

令和5年度 後期学校評価報告書

鬼北町立近永小学校

【評定の評価基準】 A：80%以上達成 B：70%以上達成 C：60%以上達成 D：50%以上達成 E：50%未満

【アンケート結果】 4：できている 3：おおむねできた 2：あまりできていない 1：ほとんどできていない

※集計により100%に満たない場合がある。

項目	評価指標	評価	考察(◇)と改善方策(◆)	評価資料	評定	肯定率(4+3)	4	3	2	1
人間力	①学校は、笑顔で元気よく挨拶ができる児童の育成に努力している。	A	◇個人差がある。機会をとらえて指導を継続する必要がある。 ◇挨拶はするが、目線が合わない子どももいる。相手の顔を見て挨拶をするよう指導が必要である。 ◆教師、児童会が率先して手本となる挨拶を行い、登校指導等のチャンス指導を継続する。家庭での挨拶については、家庭への呼び掛けを行う。	保護者	B	77.0%	24.4%	52.6%	23.0%	0.0%
				地域住民	A	100.0%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%
				教職員	A	93.3%	13.3%	80.0%	6.7%	0.0%
				児童	A	90.0%	54.7%	35.3%	7.9%	2.1%
	②子どもたちは、話を聞くときには、相手を見てしっかり聞くことができている。	B	◇前期と同様、静かに話を聞こうとする児童は増えているが、教師の評価は低い。 ◇姿勢だけでなく、話し手に目を向けて聞く態度が身に付くように指導を続け、目が合うようになってきた。 ◆姿勢だけでなく、相手に目を向けることを意識させる指導を継続して行う。話や指示を聞き、行動できる児童を増やしていく。	保護者	A	86.8%	26.5%	60.3%	12.5%	0.7%
				地域住民						
				教職員	C	64.3%	0.0%	64.3%	35.7%	0.0%
				児童	A	96.3%	74.7%	21.6%	3.7%	0.0%
	③子どもたちは、相手を思いやりながら、協力し合って学校生活を送っている。	A	◇行事や掃除の時、上学年がよく世話ができている。 ◇運動会やたかつき集会を経験し、協力する雰囲気が高まっている。 ◆上学年が下学年を思いやる行動が見られる。	保護者	A	93.3%	37.0%	56.3%	6.7%	0.0%
				地域住民	A	100.0%	38.9%	61.1%	0.0%	0.0%
				教職員	A	92.9%	21.4%	71.4%	7.1%	0.0%
				児童	A	97.4%	76.3%	21.1%	2.1%	0.5%
	④児童、教職員で協働して清掃活動に努め、校内・校舎の周りの環境は気持ちよく整備されている。 ※児童の問い「そうじのさしすせそを守って掃除をしていますか。」	A	◇黙動している児童が多い。8割以上の児童が静かに一生懸命掃除をしている。 ◇道具を正しく使って、てきぱきできるようにしたい。 ◆「そうじのさしすせそ」を再確認し、掃除に取り組ませるとともに、「自分たちの学校は、自分たちできれいにする。」という意識を定着させる指導を行う。少人数でもてきぱき掃除ができる力を付けていきたい。	保護者	A	98.5%	48.1%	50.4%	0.7%	0.7%
				地域住民	A	100.0%	82.4%	17.6%	0.0%	0.0%
				教職員	A	100.0%	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%
				児童	A	97.4%	78.9%	18.4%	2.1%	0.5%

活 力	心身ともに健康で、一生懸命取り組む児童	⑤子どもたちは、自分から進んで体力づくりに取り組んでいる。	A ◇休み時間には、外に出て遊んでいる児童が多い。昼休みには、鬼ごっこやサッカーなど、誘い合って遊んでいる。 ◇縄跳びなど目標を持って、体力づくりに取り組んでいる児童が増えている。 ◇課外体育への参加をもっと呼び掛ける必要がある。 ◆授業で個々に体力づくりの目標を持たせるとともに、目標達成の喜びを味わわせる取組を引き続き行う。高学年を中心に、課外体育への参加についてしっかり声掛けをしていく。	保護者	B	71.3%	31.6%	39.7%	26.5%	2.2%	
				地域住民							
				教職員	A	92.9%	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%	
				児童	A	89.5%	61.6%	27.9%	8.4%	2.1%	
	心身ともに健康で、一生懸命取り組む児童	⑥子どもたちは、行事や体験活動に意欲的に参加している。	A ◇運動会、たかつき集会和行事ごとに児童が生き生きと取り組み、力を付けてきた。達成感、満足感を得た児童も多かった。 ◇インフルエンザの流行も心配されたが、感染症の対策を講じながら行事を行うことができた。 ◆全てをコロナ前の状態に戻すのではなく、児童の視線で行事や体験活動を見直し、より良いものにしていきたい。また、地域に出て学ぶ機会も計画的に取り入れていきたい。	保護者	A	94.8%	45.9%	48.9%	5.2%	0.0%	
				地域住民							
				教職員	A	100.0%	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	
				児童	A	88.4%	60.0%	28.4%	10.5%	1.1%	
	心身ともに健康で、一生懸命取り組む児童	⑦子どもたちは学校へ行くのを楽しみにしている。	A ◇明るい表情で登校してきて、朝から元気である。しかし、評価に「2」と「1」があり、学校を楽しみにしていない児童の存在が課題である。 ◇保護者のアンケートには、「学校に行くのが楽しいようだ。」との意見が複数見られた。 ◆目標や目的を明確にし、学校生活を送らせたり、下校の時に、明日のイベント等を知らせ、明日の学校が楽しみになるようなお知らせをしたりするなどの工夫をする。	保護者	A	89.7%	48.5%	41.2%	8.8%	1.5%	
				地域住民							
				教職員	A	85.7%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	
				児童	A	91.6%	66.3%	25.3%	7.4%	1.1%	
心身ともに健康で、一生懸命取り組む児童	⑧自己有用感や所属感を感じられるような、豊かな人間関係や温かみのある学級づくりに努めている。	A ◇学級担任は、一人一人を大切に授業や学級活動を行うよう心掛けている。しかし、上手くできていないと感じている者もいる。 ◇クラスで認め合う、支え合う雰囲気になっている。 ◇気になることがあれば、すぐに相談できる組織づくりができています。 ◆人と関わり、成功したり失敗したりしながら成長できる機会をつくる。さらに、学力・体力・コミュニケーション能力の向上を図り、総合的に健全育成を目指す。	保護者								
			地域住民								
			教職員	A	91.7%	33.3%	58.3%	8.3%	0.0%		
			児童	A	95.8%	75.3%	20.5%	3.7%	0.5%		

コミュニティ・スクール 地域の力を活用した学校づくり	⑭子どもは、「朝の歯磨き・洗顔・朝ご飯」の習慣が身に付いている。 *はゲーム時間、就寝時間に関する問い	A	◇家庭への呼び掛け、児童への指導を行ってきた。洗顔、寝癖などの身だしなみが不十分な児童がいる。 ◇早寝、早起きを奨励し、朝の時間に余裕を持たせたい。 ◇視力低下も心配な状況があるため、学校での遠方凝視を継続する。 ◆歯磨き、洗顔、朝ご飯が習慣となるよう、家庭への呼び掛けを行う。また、養護教諭を中心に、朝ご飯の大切さを指導する。 ◆ゲーム時間、就寝時間は、家庭でのルールづくりの徹底を呼び掛けるとともに、PTA作成の「スマホの約束」が定着できるよう、家庭へ呼び掛ける。	保護者	A	94.8%	52.6%	42.2%	4.4%	0.7%	
				地域住民							
				教職員	B	76.9%	7.7%	69.2%	23.1%	0.0%	
				児童	A	96.8%	82.1%	14.7%	2.6%	0.5%	
				*保護者	C	59.6%	16.2%	43.4%	35.3%	5.1%	
				*児童	A	85.8%	60.5%	25.3%	7.9%	6.3%	
	⑮学校は、安全・安心な学校づくりに努めている。	A	◇手洗い、消毒等、感染症予防が定着している。 ◇安全な登下校について、教頭や生徒指導主事を中心に指導を行ってきた。地域の方の協力もあり、児童が安全に登下校できている。 ◆保護者、地域の方の協力を得ながら、児童が安全に登下校できるよう、見守りを行う。教頭、生徒指導主事を中心に定期的な登下校指導を継続していく。	保護者	A	96.2%	43.8%	52.3%	3.1%	0.8%	
				地域住民	A	100.0%	58.8%	41.2%	0.0%	0.0%	
				教職員	A	100.0%	35.7%	64.3%	0.0%	0.0%	
				児童	A	98.9%	85.3%	13.7%	1.1%	0.0%	
⑯子どもたちの学習していることや活動の様子を、学校・学級だよりやホームページ等で知らせている。 ※児童の問い「学校から配られた文書や通信は、すぐ家の人に渡し、読んでもらっていますか。」	A	◇ホームページを日々更新することを心掛け、児童の活動や学校の様々な情報を発信することができた。 ◇読みやすい紙面を工夫し、学級だより、学校だよりを作成することができている。 ◆児童には学校からの文書を家の人に必ず渡す、保護者には確認するということ呼び掛ける。 ◆学校の情報を分かりやすく伝えることを意識して、ホームページ、学級だより、学校だよりを作成する。	保護者	A	96.3%	46.3%	50.0%	2.9%	0.7%		
			地域住民	A	100.0%	81.3%	18.8%	0.0%	0.0%		
			教職員	A	92.3%	53.8%	38.5%	7.7%	0.0%		
			児童	A	92.1%	65.8%	26.3%	5.3%	2.6%		
⑰学校は、保護者や地域と連携して教育活動を行っている。 ※児童の問い「家の人に学校のことや友達のことを話していますか。」	A	◇地域に出て学ぶ活動機会が増えて有意義だった。 ◇依然として親子間の会話がないことが分かる。特に、児童から話し掛けることが少ない。 ◆PTAの会議等で、親子での会話を大切にすよう、呼び掛ける。	保護者	A	97.0%	44.4%	52.6%	2.3%	0.8%		
			地域住民	A	94.1%	52.9%	41.2%	5.9%	0.0%		
			教職員	A	85.7%	35.7%	50.0%	14.3%	0.0%		
			児童	A	86.8%	68.9%	17.9%	5.8%	7.4%		

	評価委員の意見	学校の対応
人間力①	<p>○子どもたちに出会った時など、大きな声でよく挨拶ができていてとても気持ちがいいです。</p> <p>○気持ちのいい挨拶は人を幸せにするとおもいます。</p> <p>○私たち大人も見習いたいと思います。</p> <p>○子どもたち同士での挨拶もできるようになると良いと思います。</p>	<p>○地域の方にも見守られている感謝の気持ちを込めて、しっかり挨拶できるよう、家庭とも連携して指導を継続したいと思います。特に、朝の登校指導の際には、積極的に児童に声掛けし元気の良い朝の挨拶ができるようにしていきたいと思います。</p>
活力⑦	<p>○地域とのつながり（地域の活動や行事…）については、地域がコロナ以降、現在も行事が縮小され、その場の設定に消極的な所に課題がある。</p> <p>挨拶、通学面では特に問題を感じないが、子どもの元気さ活気に欠ける気がする。小学生に限らず、中・高生にも言える。（私自身がそう感じているのかも…）</p> <p>○個々の子どもに目を向けて、教員がしっかりと子どもたちを見極めることが大切だと思う。問題を抱えている子どもの気持ちに寄り添って理解しているだけでも、子どもは随分と安心するのではないか。</p>	<p>○ハッピーマンデープロジェクトと題して、月曜日に楽しくなる授業や行事を設定してきました。児童も教師も学校が楽しいと思えるよう、さらに工夫を重ね活力ある学校にしていきたいと思います。</p> <p>○学級担任による個々への見取りをしっかりとるように努めていきたいと考えます。それぞれの子どもの課題を理解した上で、成長を信じて個々に寄り添った指導をしていきたいと考えています。</p>
学力⑦	<p>○少しの時間でも良いので、読書に取り組むことが大切だと思う。</p> <p>○子どもたちが本に興味を持つような取組が必要ではないか。</p> <p>○ゲーム感覚で読書に取り組めるようなアイデアはどうだろうか。</p>	<p>○読書ビンゴ、多読賞などの企画を行って、読書を奨励しています。保護者の方に、家庭での読書が目に見えて分かるような活動ができるよう、工夫していきたいと思えます。また、「本屋へ行くこうプロジェクト」を機会に読書に取り組めるような取組も考えていきたいと思えます</p>
その他	<p>○先日の学校運営協議会にて、視力低下の説明がありました。</p> <p>家庭でのゲーム機やスマホ（タブレット）の利用時間が増えていることが要因の一つと感じます。緑を見る時間を取り入れられていると聞き安心しました。子どもたちの将来において視力もとても大切なものになるとおもいます。特にスポーツなど、目の周りのマッサージなど様々な視力低下（予防）に関することを取り入れてみてはいかがでしょうか。</p> <p>○学校運営協議会の委員として活動して、大変勉強になった。学校が地域に支えられていること、先生方のいろいろなと努力を改めて知ることもできた。</p>	<p>○ここ2年、児童の視力低下が心配されています。学校でも昼休みに遠方凝視などの視力低下を予防する取り組みをしております。御意見を参考に保健指導を充実させていきたいと考えています。</p> <p>○今後とも学校運営協議会でいただいた意見をもとに、学校・家庭・地域がさらに連携を深め、より良い学校教育ができるように努めていきたいと考えています。</p>